

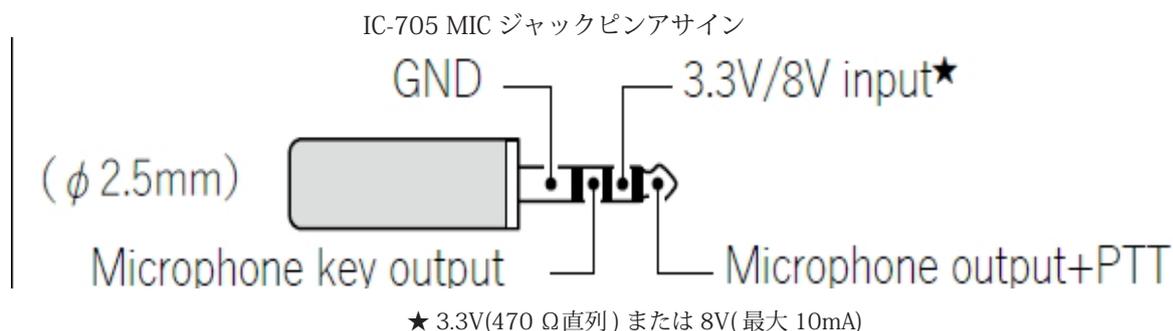
IC-705 をスタンドマイクで運用する

JK3AZL 高岡奈瑞

IC-705 を楽しく運用していますが、付属マイク以外のマイクも使ってみたくなりました。特に DV モードで運用すると、聞き慣れたハンディ機の ID-31 や ID-51 と音の差が気になりました。また自宅で長時間運用する際にはスタンドマイクも使いたいため、標準マイクの HM-243 以外で使える変換ケーブルを製作し動作検証を行いました。

■ IC-705 の MIC ジャック

IC-705 のマイクジャックは 4 極で、プラグ側で見ると下記のような配線になっています。



HM-243 の MIC プラグももちろん 4 極ですが、Key Output 機能のないスピーカーマイクであれば、3 極プラグの従来品でも使えそうです。実際に ID-51 や ID-31 で使っていたスピーカーマイクを IC-705 に接続すると、普通に使えることが確認できました。



ハンディ機用のスピーカーマイク HM-186LS を IC-705 に挿入した様子。



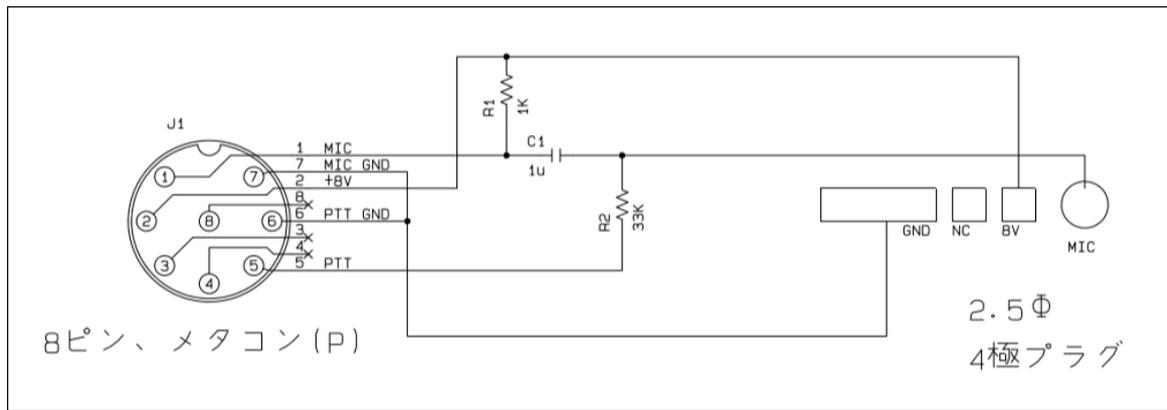
HM-186LS で送信した様子。もちろん受信音も HM-186LS から聞こえる。

■ IC-705 用マイク変換ケーブル

◎必要な部品

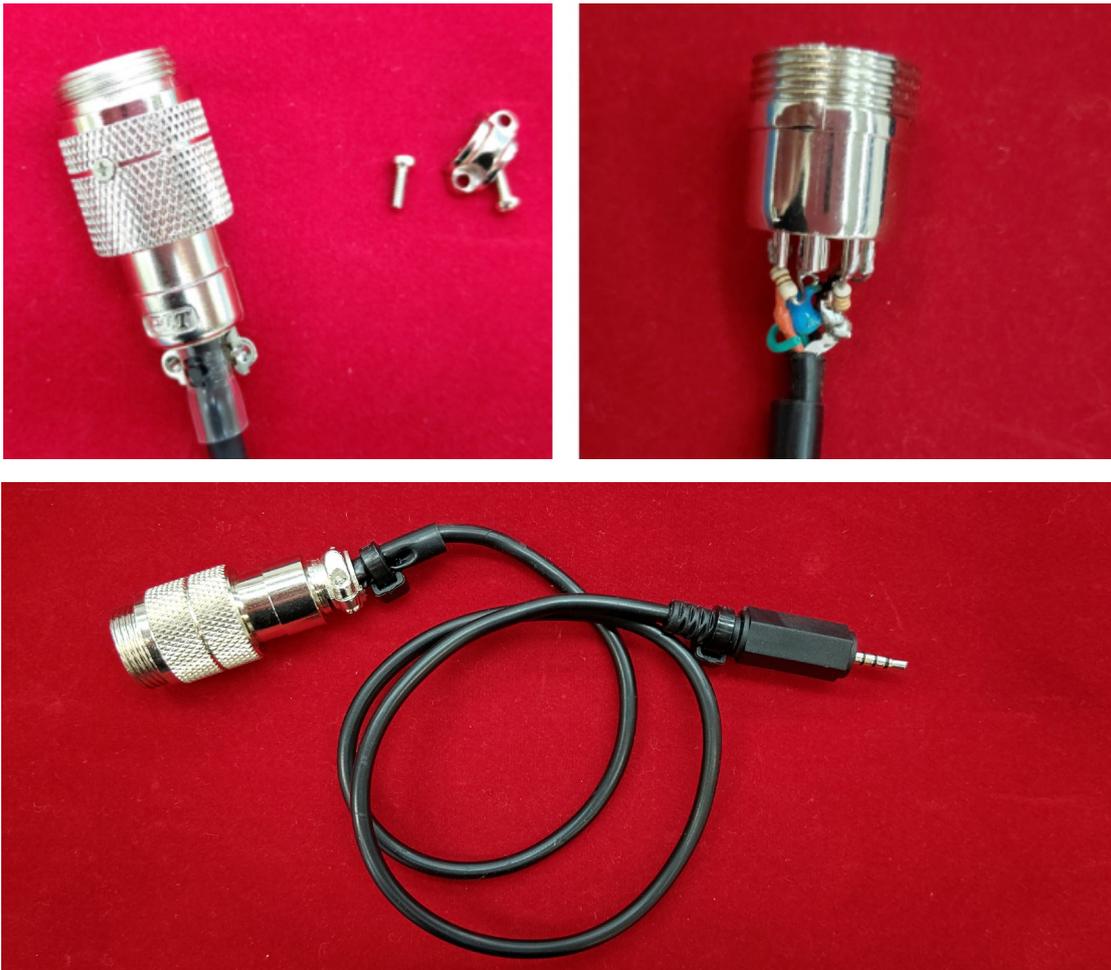
- ・スタンドマイク用 8P メタルジャック
- ・ Φ 2.5mm 4 極プラグ
- ・ケーブル (2 芯シールドもしくは 3 芯)
- ・抵抗 (1k Ω \times 1、3.3K Ω \times 1)
- ・コンデンサ (1 μ F \times 1)

◎配線



なお、IC-705 に標準付属品以外のマイクを接続する場合、スタンドマイク側の UP/DN キーは動作しない仕様です。

大阪日本橋のパーツショップで、パーツを購入し、変換ケーブルを作成しました。



完成した変換ケーブル

アイコム製のスタンドマイクを使うには、IC-705の「MIC 端子 8V 出力」を「ON」に変更する必要があります。

セットモードで、[MENU] > [SET] > [外部端子] > [MIC 端子 8V 出力] → 「ON」に変更



完成した変換ケーブルを使って SM-30 を接続し、送信している状態。

最近では「IC-705 対応 アドニス用マイク変換コード」が発売されるなど、IC-705 で使えるマイクの幅が広がりました。今回製作した変換ケーブルにより自宅からの固定運用の際に手持ちのスタンドマイクが活用できるだけでなく、IC-705 にさまざまなマイクを接続して運用すると、受信側の無線機での音の違いが感じられ、面白いと感じました。